

# 「三元豚」は特別な豚なの？

A

日本で売られている豚肉のほとんどが、

3品種の豚を交配した

「三元豚（三元交配種）」です。

国内で飼育される豚の純粋種は、主に「大ヨークシャー種」「ランドレース種」「デュロック種」「パークシャー種」の4品種。これらの品種をかけ合わせ、それぞれの優れた特徴を活かし合うことで、おいしく、安定供給できる豚肉を生産しています。

『三元豚』とは、異なる3品種を交配した豚（三元交配種）のことで、国内で販売される豚肉の多くが「大ヨークシャー種」「ランドレース種」「デュロック種」をかけ合わせた三元豚です。三元交配により、

産子数が多い大ヨークシャー種、肉量が多いランドレース種、肉質が良いデュロック種の長所と、雑種特有の強健性をあわせ持っています。

また、「パークシャー種」は、黒豚独特の肉質を損なわないよう他の品種と交配を行いません。純粋なパークシャー種は国産・外国産を問わず「黒豚」と呼ばれ、他品種よりも肥育期間が長くなることなどから高価格で販売されることが一般的です。

大ヨークシャー種



ランドレース種



デュロック種



大ヨークシャー種／イギリス原産。白色の大型種で、産子数が多い。

ランドレース種／デンマーク原産。白色の大型種で、肉量が多い。

デュロック種／アメリカ原産。赤褐色の大型種で、肉質が良い。

パークシャー種



黒豚

イギリス原産。肉質が良い。

三元豚（三元交配種）

三元豚は、ランドレース種の雌（♀）と大ヨークシャー種の雄（♂）をかけ合わせ、生まれた豚の雌とデュロック種の雄を交配したものが主流です。

ランドレース種  
（♀）大ヨークシャー種  
（♂）

×

繁殖豚（♀）

デュロック種  
（♂）

×

三元豚（三元交配種）

